

人形病院及び人形供養

(承前)

帝國幼稚園長 西山哲治

人形供養

人形病院といふものが幼兒の感情教育の上に必要缺くべからざるものであることは既にこれまで述べた通りであります。さて人間の病院に於ては入院患者の大部分は全快して、芽出度く退院するのであります、中には病氣が手後れになつてゐて、何うしても快復の見込のつかない場合もあります。

丁度これと同じやうに、人形病院に收容される人形は、どんなにひどい病状を呈してゐるものでも、殆んど全部、療治されて、元の健康體に復するのですが、中には全然快復せしめる術のない程にひどく痛んで居るのがあります。斯ういふ人

形は何うしても生き返らすことの出来なくなつた人形として扱ふのであります。即ち生命を失つた人形、死んだ人形として之を厚く葬つてやるのであります。この死んだ人形を葬つてやるといふことも亦幼兒の感情教育の上から見て非常に大切なことなのであります。斯る意味から私は去る九月十四日第一回の人形供養を行つたのであります。今その時の模様を次ぎにお話しいたしませう。

先づ當日の式の順序は次の如くであります。

人形供養儀式順序

一、敬禮

二、人形病院の歌合唱

生徒一同

志賀淳信師

四、吊文

校長西山哲治

五、人形供養の歌合唱

生徒一同

六、人形に生花を捧ぐ

七、女兒三度宛土をかく

八、敬禮

以 上

讀經は近くの東福寺の住職志賀淳信師を煩はしました。吊文は私が朗讀いたしましたので、その全文は次の如くであります。

吊 文

抑々日本は人形の國也。其起源の古き、其種類の多き、其製法の巧みなる、其取扱法の發達せることを美術品として見るも、我國の雛及び人形は實に世界一とも稱すべし。

日本の人形は殉死の身代となりしより起り。爾來人の病魔凶事を身に引受け、或は天兒あまわら、這子はいの如き、母の安産の爲め、又は子供の爲めに犠牲となりて海に川に流されたる例あり、雛祭及び端午の節句祭りに於ては子女の人物崇拜的

となり、内裏様を祭るは南陛下の御真影を拜さしむるにも齊しかりし也。誠に人形は子供の爲めには善き家庭教師にして、女兒の爲めには家事を教ふる又なき良教師なり、豈尊敬せざるべけんや。古き歌に、

兩親にもらつた裸人形へ疵をつけずにつつが
孝行
の一首あり。又古き句に、

神代より紙雛二人、三人見す

とあるを見れば、一夫一婦、又は夫婦和合の家庭道徳を巧みに具體的に教へ得たるものといふべし、子女教育上貢獻多き人形を尊重するの精神と子供が人形を生命あるものとして取扱ふ心とを汲みて大正二年秋本校に帝國人形病院を設立して今日に及び、手術を加へたるもの既に三千に達せり。

此に手術の及ばざる人形を集め、子女教育のため、貴ぶべき職に斃れたるものとして、感謝、

追悼の精神により、本日人形供養の式を營む、子女のために教育をつくして倦まざりし今は亡き人形に厚き感謝の意を表さんとて、此式場に於て一言を述べるを喜びとするもの也

人形供養の大正七年九月十四日

帝國小學校
帝國人形病院長 西山 哲治

又當日生徒一同の歌ひました人形供養の歌といふのは次の如きものであります。

人形供養の歌

私の可愛い人形は お腹をいため手をいため
とう／＼人形病院で かなしいことになりました

ほうのえくぼの愛／＼ だつこをすればお手をまる

あのまあ／＼人形は かなしいことになりました

こゝは可愛い、私の 小さい人形のお墓です

お墓にうめてやさるに 人形供養をいたしませう

當日埋めた人形は全部で十五本でした、内三本

は西洋人形でありましたがその他は皆日本人形で

ありました。一番大きいのが二尺、小さいのが二寸位がありました。十四本は帝國小學校及び帝國幼稚園の生徒の持つてゐた人形でした、一本は神田の某氏が私達の催しを新聞によつて知られて葬つてくれと言つて持つて來られたもので這ひ人形でした。是等の人形は皆手足がなくなつてゐるか、臺灣坊主みたいになつてゐるか、ひどいのになると首がないとかいふやうな人形でした。

運動場の一隅に是等の人形を葬り、そこに柱を樹てました、而してその表面には「爰人形供養塔者爲揭曼界會開曉得脫資糧矣」と認め、裏面には「維時大正七年九月十四日帝國人形病院建之」と認め、右側面には「一佛成道觀見法界」と認め、左側面には「草木國土悉皆成佛」と認めました。

溝口伯は香奠として金一封を贈られました。

人形供養の儀式は極めて莊嚴に行はれました。子供達は僧侶の姿態、讀經の聲、香のかおり等によつて形づくられるこの場の氣分によつて十分に宗教的感情に導かれました。このことは子供達にたしかにい、感化を與へたこと、私は信じます。